



前提条件と重要な考慮事項

- [前提条件と重要な考慮事項 \(1 ページ\)](#)
- [NTP の設定要件 \(2 ページ\)](#)

前提条件と重要な考慮事項

- 移行とアップグレードのプロセスを開始した後、そのプロセスをバックアップすることはできません。以前のリリースに戻す必要がある場合は、バックアップから VM を復元する必要があります。
- リリース 11.5 (x) または 11.6 (x) から直接アップグレードできるのは、Cisco パッケージ CCE 2000 エージェント展開、リリース 12.0 (1) だけです。リリース 11.0 (x) からアップグレードするには、まず 11.5 にアップグレードしてから、12.0 にアップグレードする必要があります。11.0 (1) よりも以前のリリースからアップグレードする場合は、まず 11.0 (1) にアップグレードしてから 11.5 (1) にアップグレードする必要があります。
- ライブデータサーバなどの Cisco VOS ベース サーバをアップグレードする前に、VM の **オプション > 編集設定** の各電源オンボックスをオンにし、**VMware ツールをアップグレード** してからオンにしてください。

VMWare ツールアップグレードの詳細については、VMware のドキュメントを参照してください。

- アップグレードする前に、開いている Microsoft Windows イベントビューアーのすべてのインスタンスを閉じてください。これにより、以下の DLL がロックされるエラーによる、インストールの失敗を防ぐことができます。
 - icrcat.dll
 - icrmgs.dll
 - snmpeventcats.dll
 - snmpeventmgs.dll

失敗した場合は、イベントビューアーを閉じて、インストールを再試行します。エラーが解決しない場合は、Microsoft Windows イベントログサービスを再起動してください。

- このリリースには、更新されたデータベーススキーマが含まれています。アップグレードプロセス中に、拡張データベース移行ツール (EDMT) を使用してスキーマのアップグレードを実行します。

アップグレードユーティリティの詳細については、以下を参照してください。

<https://software.cisco.com/download/type.html?mdfid=268439622>

- アップグレードを開始する前に、サイド A とサイド B のすべてのコンポーネントのバックアップがあることを確認してください。アップグレードを実行している仮想マシンのスナップショットを取得できます。
- サーバの設定が完了したら、VM をサーバに移動し、共通グラウンドアップグレードプロセスを実行できます。
- 必要に応じて、移行を開始してダウンタイムを減らすためにアップグレードを開始する前に、統一された CCE Rogger オフボックスをステージングすることができます。
- ESXi のサポートされるバージョンを実行していることを確認します。サポートされている ESXi バージョンの詳細 *Cisco Packaged CCE* の仮想化に https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/pcce_virt_index.html。
- システムを Microsoft Windows Server 2016 にアップグレードする場合、NIS サーバツールはサポートされません。したがって、システムをアップグレードする前に、[NIS サーバ (NIS ツール)] チェックボックスをオフにする必要があります。

NTP の設定要件

Packaged CCE は時刻同期に依存しています。正しく NTP を設定することは、データの報告とコンポーネント間の通信の信頼性を高めるために重要です。NTP および時刻同期に示す要件を実装することが大切です。